

サンホセ(SJ)・アグアスカリエンテス(AC)小学部第5学年合同遠隔授業 社会科学習指導案(略案)

「これからの食料生産とわたしたち」

授業者 T1 宮本豪 (SJ) T2 阿部邦広 (AC)

<第6時>

目標：これまでの学習を振り返り，我が国における食料生産の未来について考えることができる

ICT：Zoom やロイロノートなどの機能を目的に合わせて選択して活用する（☆）

対話：学習を通して考えが変わったことなどを，理由を含めて伝え合う（◎）

学習活動及び内容	指導上の留意事項
1 これまでの学習内容を確認する。	○これまでに学習してきた課題を振り返る。
2 本時の学習課題を確認する。 食料生産について学んだことや今後大切にしていかなければならないことについて発信しよう！	○ロイロノートで音声スライドショーを作成し，これまでの学習や社会で大切にしていかなければならないことなどを発信することで，より良い食料生産の未来につなげることを確認する。
3 音声付きスライドショーを作る。 (1) 担当割り ① 日本の食料自給率 ② 食料品の輸入が多い理由 ③ 国産や外国産食料品の安全性 ④ GTインタビュー ⑤ JAの課題解決に向けた提案 ⑥ これから大切にしたいこと（全員） (2) スライドに録音 (3) スライド組み合わせ (4) 視聴	○活動の流れを画面共有し，確認する。 ☆音声録音の仕方を確認する。 ☆これまでロイロノートにまとめてきた記述や資料などを児童に配布し，そこに録音していくことを説明する。例として④時のスライドに音声を入れたものを配る。 ◎「音声付きスライドショー作りのポイント」カードを各児童にロイロノートで配布する。このカードを参考にし，児童同士が協力して活動していくことを確認する。カードのポイントはどんな言葉を入れるか相談すること，できあがったスライドを送り合い，アドバイスし合うことの2つである。 ○教員の画面はオフにし，児童だけで活動しているような雰囲気をつくる。 ㊤ 食料生産に対する自分の考えを表現することができる。
5 本時・本単元の自己評価を行う。 Google form で振り返りを入力する。	○完成したスライドショーは各校やJAで観てもらうことを確認する。また，前時の提案に対するJAからの返信が来た際には，ロイロノートで共有することを確認する。